

『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』

作品概要

注目の次世代俳優・豆原一成(JO1)×44年ぶりの映画主演・市毛良枝

祖父が遺したやさしいサプライズ——。僕と祖母、毎日が輝きだす。

【INTRODUCTION】

孫と祖母とが軽やかに紡ぐ家族の物語——。コーヒーにだけはこだわりがある、ちょっと頼りなくて優しい孫・拓磨役に、映画主演は2作目となる、グローバルボーイズグループ JO1 の豆原一成。夢を叶えるアクティブな祖母をチャームに体現するのは W 主演の市毛良枝。亡き後もその思いが二人を支える祖父役を『敵』の長塚京三、ほか酒井美紀、八木莉可子らが物語を彩る。監督は『大河への道』の中西健二。脚本は『サイレントラブ』のまなべゆきこ。人生は意外と楽しくていいとおしい。

【STORY】

祖母・文子と暮らし始めた大学生拓磨は、亡き祖父・偉志の書斎で大学の入学案内を見つける。それは偉志が遺した文子へのサプライズだった。一歩踏み出し、若い頃の夢だった「学び」の日々を謳歌する文子。一方、拓磨は夢に自信が持てず将来に悩む。そんな二人は富士山が好きだった偉志の手帳に不思議な数式を見つけて…。

■出演: 豆原一成(JO1) 市毛良枝

酒井美紀 八木莉可子／長塚京三

市川笑三郎 福田歩汰(DXTEEN) 藤田玲 星田英利

■監督: 中西健二 ■脚本: まなべゆきこ ■音楽: 安川午朗

■主題歌: 「ひらく」 JO1 (LAPONE ENTERTAINMENT)

■原案: 島田依史子「信用はデパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語」
(講談社エディトリアル刊)

■制作プロダクション: PADMA

■配給: ギャガ

2025/日本/カラー/アメリカンビスタ/5.1ch/100分/映倫: G

©2025「富士山と、コーヒーと、しあわせの数式」